

2050 信州 2022 年度実施結果 ゼロカーボンチャレンジ!

このチャレンジは、家庭でできる地球温暖化防止を行うとともに、2050 年のゼロカーボンに向けて今からどんなことができるか、という課題に子どもたちがチャレンジするプログラムとして 2020 年度に作成、県内の小中学校から参加を募り、子どもたちに冊子を配布して、夏休みを中心に学校や家庭で挑戦してもらっています。

本格実施 2 年目となる 2022 年度は「ながの海ごみゼロプロジェクト」のご協力をいただき、冊子『上流県「ながの」から海をキレイに』を併せて配布しました。



●参加数

その結果、学校 16 校(小学校 10 校、中学校 6 校)、個人 9 名、計 1,695 名の児童・生徒に参加いただきました。中学生の割合が 64%と高くなりました(前年度は 42%)。

さらに、「私の 2050 ゼロカーボン」というテーマで、現在取り組んでいること、これからやってみようことなどを書いてもらう「プラスチャレンジ」には 594 名に応募いただき、抽選で 201 名に記念品をお贈りしました。

	学校数	参加者数	プラスチャレンジ
2022 年度	16 校	1,695 名	594 名
2021 年度	21 校	1,191 名	558 名
増減	-5 校	+504 名	+36 名

●チャレンジ 1・2 の結果

●チャレンジ 1 やってみよう! お家で地球温暖化防止

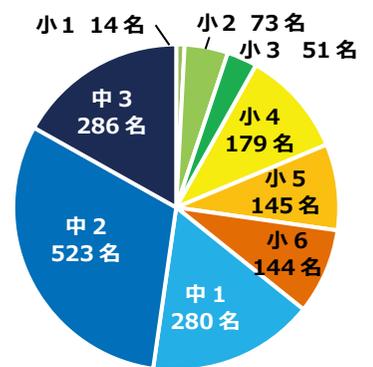
チェックリストにある「好き嫌いせずに残さず食べる」「ゲームはやる時間を決めて、約束した時間でやめる」など 24 項目から 5 項目選んで 7 日間チャレンジしてもらいました。このチャレンジでは、できた数を記入してもらいますが、最大 35 点(5 項目×7 日)のところ、全参加者の平均は、前年度と同じ 29 点でした。

●チャレンジ 2 調べてみよう! 2050 ゼロカーボンへの道

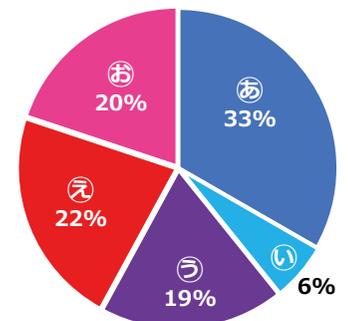
次の㉔~㉞から 2 つ選び、「ワークシート」に記入しながらチャレンジしてもらいました。一番多く選ばれたのは㉔で、次いで㉕㉞が多く選ばれました。

- ㉔ パンフレット『信州ゼロカーボン BOOK (小・中学生)』を読んで、地球温暖化についてくわしくなるう
- ㉕ 「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」で、お家の屋根でどのくらい太陽光発電できるか調べよう
- ㉖ 信州産の野菜・果物を食べて、「おいしい信州ふーど de ビンゴ」に挑戦しよう
- ㉗ 付録のかるたで遊んで「環境マーク探検」をしよう
- ㉘ パンフレット『上流県「ながの」から海をキレイに』を読んでプラスチックごみをへらそう

〈学年別応募者数〉



〈チャレンジ 2〉



●学校応募

参加していただいた学校のうち、全児童・生徒数に対する応募数の率が高い学校について「優秀協力校」として小学校 4 校・中学校 2 校、「準優秀協力校」として小学校 2 校・中学校 2 校、また、「特別協力校」として中学校 2 校を選定し、環境教育にご活用いただく教材費を贈呈しました。

結果・冊子(ワークシート)など、くわしくは県センターHPへ





子どもたちの本音が見える？！ チャレンジしてみた感想&気づいたこと

応募シートの感想欄に書かれた児童・生徒のコメントを抜粋しました。



●チャレンジ1 やってみよう！お家で地球温暖化防止

〇〇っぱなしはもっ たいない。 [小1]	いつもより、きもちのいいせ いかつをおくれた。 [小5]	家族が消し忘れた電気を 消したり、止め忘れた水を 止めたりしていたら、次第 にみんな節電・節水をする ようになった。 [中2]	あんま自分には関係な いと思ってたけど、チャ レンジしてみて、身近 で、すごく大切なことだ とわかった。 [中2]
ぼくにもできること があった！ [小2]	くせがついちゃって、直らな い部分もあった。 [中2]		

●チャレンジ2 調べてみよう！2050 ゼロカーボンへの道

㊸ パンフレット『信州ゼロカーボン BOOK (小・中学生)』を読んで地球温暖化についてくわしくなろう

ぼくは車が好きな ので、大きくなった時、 CO ₂ を出さない、かっ こいい車がいっぱいあ るといいなあ。 [小4]	日本は CO ₂ を出す量が 世界で 5 番目だと知っ ておどろいた！ [小5]	ぼくも、持っている服を長く 大切に着て、サステナブルフ アッションしたい。 [小6]	地球の体調はかなり悪いと 思った。人間が地球の善玉菌 になりたいと思った。 [中3]
	水は CO ₂ とは関係ないと思ってた！ [中2]	思っていたよりずっとヤベえ問題！ [中3]	

㊹ 「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」で、お家の屋根でどのくらい太陽光発電できるか調べよう

将来、自分が家を建てるなら、 ソーラーパネルをつけた家に しよう！ [中1]	私の家では2018年にソーラパネルをつ けて、発電自給率の平均は約60%。 天候に左右されやすいけれど、少しでも CO ₂ を削減できていてよかった。 [中3]	思っている以上に家の電気の使 用量が多くてびっくり！家族に も呼び掛けて節電を意識したい。 [中3]
--	--	---

㊺ 信州産の野菜・果物を食べて、「おいしい信州ふーど de ビンゴ」に挑戦しよう

きれいなものも食べれるよう になってうれしい。 [小4]	信州産の「ながいも」「ズッキーニ」 食べたことがなかったけれど、新鮮 でとても美味しかった。 [中1]	旬や産地を気にせず野菜などを買っ ていたので、これからはそこも加味し ながら商品を買っていきたい。 [中3]
長野県はこんなにも特産品があ るんだなと改めて実感。 [小6]	ビンゴはパーフェクトでクリア！ [中2]	おいしくて安全 信州産。 [小4]

㊻ 付録のかるたで遊んで「環境マーク探検」をしよう

世の中にはいろいろなマークがあ って、かんきょうをほごするという きもちが伝わりました。 [小5]	つくるのもやるのも楽しかった。 楽しく SDGs やゼロカーボンを 学べるのはいいと思った。 [中2]	家族でやってみましたが、見たこと のないマークばかりで、勝負どころ ではなかった。一枚取っては、しみじ み感心したので、面白かった。 [中1]
マークのデザインがかわいいと覚えやすいからイイ。 [中2]		

㊼ パンフレット『上流県「ながの」から海をキレイに』を読んでプラスチックごみをへらそう

自分がおもっているより も毎日すごいゴミがで る。なんにでもトレーや プラスチックが使われて いるんだなあ。 [小2]	ペットボトルとか、プラス チックのゴミのせいで、海 の生物も苦しめてるし、人 間は自分たちの首をしめ てると思った。 [小6]	コンビニで「ふくろいらないです」と言えた。 [小5]	長野から海をキレイに することで、自分の心も キレイになる。 [中2]	4R、「きいたことある」 から、「やってる！」に かえたい。 [中2]
---	---	----------------------------	---	---

●チャレンジ全体の感想



今までなんで節電や節水をした
方がいいのか分からず、言われた
ことだけしていましたが、このチ
ャレンジは自分で考えて取り組
めるので、がんばります。 [小6]

このままだと本当に地球が崩壊してしまい、
人間が住めなくなるかもしれない… [中3]

暑くなって大変になるのは私たち。自分た
ちで解決していくために行動したい。 [中2]



出前授業に「うんこ先生」登場！ @佐久城山小学校



佐久市立佐久城山小学校で 1 月 19 日、子どもたちに人気のうんこ先生の出前授業があり、2 年生約 60 人が地球

温暖化について楽しみながら学んでいました。

次世代を担う子どもたちに脱炭素社会に向けた行動を身につけてもらおうと、県センターが企画した、県内初めての取り組みは、同校教員で推進員でもある有賀宏道先生のほか、2 年 1 組の白田恵美子先生、2 年 2 組の原科勇希先生の協力で実現しました。

授業では、冊子『うんこドリル地球温暖化(長

野県編)』を教材に使用。うんこ先生が発明した未来テレビに映る温暖化した地球の姿をよりよい未来に変えるため、うんこ先生が出題する 5 問

に挑戦しながら温暖化の原因や対策を学びました。「今日学んだことを続けていくことが大切じゃぞい」とうんこ先生。児童たちは「みんなでこの地球を大切にしたい」「CO₂が出ないように、できることをしたい」



「うんこ先生と地球温暖化の勉強ができてうれしかった」などと話し、目を輝かせていました。

児童のイラスト→



東御市「ゼロカーボンミニ講座」 @東御市立祢津小学校



東御市は、2020 年 12 月 8 日に気候非常事態を宣言、ゼロカーボンシティを目指しています。未来を生きる子どもたちに「ゼロカーボン」を知ってもらうため、2022 年 12 月 16 日と 23 日、祢津小学校で理科の授業の時間に、宮原則子・新田詔三両推進員を講師に迎えて「ゼロカーボンミニ講座」を行いました。

参加した 6 年生は、エアロバイクのペダルを漕いで扇風機を回したり【写真右】、手回し発電機でプロペラを動かし紙風船を浮かせる等、体を使ってエネルギーを生み出す大変さを体験、「もっと早く漕いで」「すごい！すごい！」などの声援を受けながら発電しました。地球温暖化の原因や影響、対策などの知識を動画にしたクイズ【写真左】では、みんなで考えながら楽しく学習することができました。また、全校児童に少しでも地球温暖化に触れてもらいたく、昇降口に 1 週間、パネルを掲示しました。(東御市生活環境課)



【事業者向け】信州脱炭素経営ゼミ（基礎編・応用編）を開催

信州脱炭素経営ゼミの基礎編は 1 月 12 日、応用編は 20 日に会場とオンラインで開かれ、県内企業などから延べ 83 人の受講生が、温室効果ガス排出量の算定をはじめ脱炭素化へのロードマップ策定について理解を深めました。中小企業の脱炭素化支援のため、CO₂ 算定セミナーを皮切りに毎年開き 3 年



目となる講座で、当協会、長野県センター、長野市センターが共催しました。基礎編では国際航業株式会社の長谷川浩司氏が、温室効果ガスの算定方法について実習を交え講義し、長野県環境部・産業労働部からゼロカーボン実現に向けた施策を説明、NiKKi Fron 株式会社 代表取締役社長の春日孝之氏が、カーボン排出量の見える化と削減の取り組み事例を紹介しました【写真】。

再配達削減キャンペーン 報告

宅配便の取扱量が増える年末にあわせ、令和4年10月から12月に「再配達削減キャンペーン」を実施し、個人荷物の職場受取や、パンフレット配布による従業員への周知に賛同いただける事業所を募集しました。

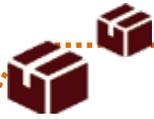
その結果、**60者(延べ499事業所)**様からご賛同いただきました(令和5年1月5日現在)。賛同いただいた内容は、「職場受取を実施する(従業員への周知もあわせて行う)」は44者(73.3%)、「従業員への周知を行う」は16者(27.6%)でした。賛同いただいた皆様からは、「具体的な職場受取の方法は?」というご質問等の他、「すでに従業員の店舗受け取りは実施しております。とても便利です!」「とても良い取り組みです。目からウロコ」などのお言葉もいただきました。

この取組は、引き続き実施していきますので、ご賛同いただける事業所の方は、県センターホームページからお申し込みください。

ながの再配達削減プロジェクト事務局



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ



職場受取*の具体的な手順

- 1 従業員の方に、個人の宅配荷物を「職場受取」できる旨の周知をする。
- 2 宅配荷物の職場受取を希望する従業員の方は、注文時に送付先を職場にする。
記載例「〇〇会社 気付 〇〇(個人) あて」
- 3 注文した従業員の方は、受付近くの従業員の方に荷物の受取をお願いし、荷物が届いたら連絡をもらう。
- 4 連絡をもらった従業員の方は、荷物を受け取っていただいた従業員の方にお礼を言って、荷物を受け取る。

*従業員が個人の宅配荷物(自宅で受け取れない、軽くてかさばらないものなど)を職場で受け取れるようにすること。



生ごみ減量・堆肥化「るるネット」の挑戦

NPO 法人 みどりの市民 渡辺 ヒデ子 [長野市]



我が家の可燃ごみの袋から、「生ごみ」が消えて20年になります。生ごみはほぼ堆肥化して段ボール堆肥とコンポストの併用で土に還しています。初めは面倒でしたが、今では段ボールの中の微生物で生ごみが30~40度の熱を発生して発酵・分解しているのを見るのが「楽しみ」になっています。

どんぐり・るるネット



家庭から排出される可燃ごみの約4割が生ごみで、その8割以上が水分だといいます。私が所属しているNPO法人「みどりの市民」では、2019年から、土が無い家庭でも堆肥化ができるようにと、生ごみ(堆肥化一次生成物)の回収と堆肥化の基材となる竹チップの配達をシステム化し、「どんぐり・るるネット」として運営しています。2022年度現在の会員数は延べ213人。これまでの生ごみの堆肥化実績(可燃ごみ削減)は推計値で19,060kg。決して多くはない数値ですが、参加会員は確かに「持続可能な社会づくり」の意識を持っています。「るるネット」は、生ごみの堆肥化を継続させ、豊かな土壌づくり・地域づくり、そしてキッチンからゼロカーボン実現への挑戦です。「どんぐり・るるネット」会員がもっと増えることを願っています。

4/15~5/14は **みどりの月間**